

草の根 通信

VOLUME
101

Kusanone Tsushin

[2019年12月発行]



フィラデルフィア スカイライン

第29回日米草の根交流サミット2019

特集

兵庫・姫路大会 参加者の声

- ・フィラデルフィア紹介 アメリカ独立象徴の地インディペンデンス国立歴史公園
- ・ジョン万次郎 関連活動報告



あたたかい空へ。あたらしい空へ。

ANA Inspiration of JAPAN

A STAR ALLIANCE MEMBER 

特集

第29回日米草の根交流サミット2019 兵庫・姫路大会 参加者の声

今年の兵庫・姫路大会に参加したアメリカ人参加者達から多くの感想やご意見が寄せられました。その一部を抜粋してご紹介します。兵庫・姫路大会のスタッフやボランティアの皆様、ご協力いただきました関係者の皆さまに改めましてお礼申し上げます。



参加者からの声

ホームステイ・ホストファミリーへ

- ・ホストファミリーに感謝。とても優しく、我が家にいるようでした。
- ・細かい気配りがされていたので楽しく過ごす事が出来ました。
- ・歓迎され、人柄も良く、楽しめました。心地よく滞在でき、正真正銘の家庭料理を堪能しました。
- ・私のホストはこれ以上ないほど最高で、幸せでした。パーフェクトマッチでした。
- ・私のホストは最高。彼女の英語も流暢で、私たちは似たもの同士で、価値観もとても似ていました。近くのレストランへ連れて行ってくれ、普段の地元の生活スタイルを味わうことができました。
- ・素晴らしいホストファミリーで、とても親切、愛情たっぷりでした。彼らのすべてが大好きです。
- ・ホストファミリーでの滞在を心から楽しめました。何度もサミットに参加していますが、初めて(いわゆる)伝統的な日本の家庭ではなかったので、かえって良かったです。
- ・私のホストファミリーはとても歓迎してくれ、本当の家族のように過ごしました。これ以上のホストファミリーはありません！



地域分科会プログラムについて

- ・プログラムもツアーも人々も素晴らしく、多様で、しっかり組み立てられていました。
- ・スタッフは地元のすばらしさを十分にを見せてくれました。
- ・寺院の祈祷場所に入れたことにとても感動しました。
- ・他の参加者たちも自分たちが参加した分科会が一番よかったと思っているに違いありません。
- ・地域分科会プログラムは、まさに私がやりたいと思っていたことばかりでした。
- ・すばらしすぎるチームでした。



大会全体の感想

■ コロラド州より参加 46歳 女性

2007年に日本に来て以来姫路城を訪れたいとずっと思っていました。今回鳥根も訪れ、過去大会のホストファミリーにも会うことができました。丹波では「男はしっかりしなければならない」という教えがあるということにびっくりしましたが、私たちのグループの唯一の男性だった主人はしっかり丹波の皆さんに鍛えられたと思います。彼は少々戸惑っていましたが、私はその社会性に興味を持ちました。

■ ワシントンDCより参加 46歳 男性

ドラゴンクエスト好きが興じてホストファミリーとの絆を深めました。ホストファミリーの末っ子君がドラゴンクエストのピアノリサイタルをしてくれました。

■ ヴァージニア州より参加 75歳 男性

私は50年来、日本の文化や芸術、その他全てのものに興味を持っていました。私が10代の頃、日本の「洪さ」について書かれたものを読んだことがきっかけで、その後、日本庭園、盆栽、生花、俳句、北斎などの美術史、食文化、寺院などなどの本を読んで来ました。コロンブスがアメリカ大陸を発見する、さらにずっと前に建てられた寺院やその庭園を歩いたその感覚は、「百聞は一見に如かず」です。

■ メリーランド州より参加 13歳 女性

草の根交流サミットはとても楽しい思い出になりました。全行程およそ1週間の間に色々な場所を訪れました。私にとって今回が初めての日本訪問でしたが、明らかに一番楽しく、思い出に残る旅行の一つになりました。文化や食事の数々の学びや体験に目を開かされ、日本の魅力にとらわれました。次回も是非参加したいです。ホームステイは本当に素晴らしい体験でした。ホストファミリーはとても親切に、普通の旅行では味わえないことを多く体験させてくれました。今後もこのプログラムが継続し、もっとたくさんのアメリカ人たちが参加し、両国の友好が続くことを願います。

■ ニューハンプシャー州より参加 29歳 男性

アメリカでも庭園や、寺院、神社、家屋などから日本の美しさを知る機会がありますが、今回僕たちのために、兵庫県の方が彼らの家と時間を共有し、もてなしてくれたこと、これがただ単に素晴らしく、一番重要なことだと思いました。短期間ですが、日本人家庭の生活や食生活を見ることができ、個人レベルで日本の美しさを見ることができました。こういった美しさは実際に体験しない限り、本やビデオでの表現では理解することはできないと実感しました。将来また訪問し、何かの形で恩返しをしたいと思います。皆さん本当に、第29回日米草の根交流サミット旅行の成功をありがとう。

■ メリーランド州より参加 38歳 女性

草の根交流サミットは、日本を知る最適な方法でした。有名な歴史や文化的な場所を訪れ、ボランティアの家族と時間を供し、その国の日常生活を体験し理解する、という旅の組み合わせでした。サミット後、金沢・能登ホームステイプログラムにも参加し、兵庫県以外の他の日本を見ることができました。終わってみれば、今回私は6つの市町を訪れ、どれも特徴的でした。また、サミット参加によりたくさんのアメリカ人とも知り合うことができました。その多くは私と同じ地域に住んでいる方なので、また会いたいと思います。主催団体やサミットと地域分科会の担当者たちは参加者たちのそれぞれの要求を満たしながら、効率よく運営してくれました。将来また更なる発見を求めて日本に来たいと思いますし、フィラデルフィア大会に協力したいと思っています。



アメリカ独立象徴の地 インディペンデンス 国立歴史公園



独立記念館

来年10月に行われる第30回日米草の根交流サミット2020フィラデルフィア大会の開催地、ペンシルベニア州フィラデルフィアは、1790～1800年の間アメリカの首都となり、「建国の父」らによって独立宣言が発せられた、言わば「アメリカ合衆国の歴史」の始まりの地です。また、2015年アメリカで最初に「World Heritage City — 世界遺産都市」に認定された都市でもあります。

独立記念館の周辺には、ほかにもさまざまな歴史的モニュメントが残されていて、インディペンデンス国立歴史公園として管理されています。

今回はその憲法が採択されたフィラデルフィアの中心地、インディペンデンス国立歴史公園の主な施設をご紹介します。

アメリカ独立&独立戦争の背景って？

16世紀後半、イギリスによる植民地化が進み、ボストンやフィラデルフィアなど北部は交易、カロライナやジョージアなど南部はプランテーションの要地として目覚ましい発展を遂げて行きます。1750年代にはフィラデルフィアはボストンを上回る北米最大都市となり、イギリス領内でもロンドンに次ぐ第二位の都市となっていました。

アメリカ植民地が急成長を遂げている頃、イギリス政府は自らの財政危機対策のため、アメリカ植民地への課税を強化し始めます。その反対運動の発端として知られているのが、1773年のボストン茶会事件とも言われます。その後、アメリカのイギリス領植民地住民はイギリスの支配を拒否し、独立戦争へ発展して行きます。アメリカ13植民地政府が団結すると、その代表者達がフィラデルフィアに集結し、1776年7月4日にアメリカ独立宣言を発して、正式にアメリカ合衆国という国家を形成することに至ります。その後フランスがアメリカ側に参戦し、1783年のパリ条約で戦争が集結し、イギリスもアメリカ合衆国の独立を認めることになりました。

参考：Wikipedia

インディペンデンス国立歴史公園内 施設ご紹介



1 独立記念館

歴史上の大きな出来事を目撃してきた建物の一つ。ここでアメリカ国が誕生しました。国の代表が独立宣言と合衆国憲法に署名した場所です。選出された議員たちが様々な議論を交わしました。



9 第二合衆国銀行

探検家や軍の将校、政治家などの肖像を見ることができます。



8 ベンジャミン・フランクリン博物館

建国の父と呼ばれる彼の科学、慈善、ビジネスや政治への興味を通してフランクリンの人生について知ることができる場所です。彼の今日までの継続的な人気の理由を解説しています。



7 フランクリン・コート/印刷会社

印刷会社を営んでいたことから、ベンジャミン・フランクリンは言葉の力を理解していました。18世紀の印刷会社がどのように運営されていたのか、印刷された文字がアメリカ革命と国家の創設に果たした極めて重要な役割を見ることができます。隣接してフランクリンの孫が経営していた新聞社があります。また、フランクリン・コートの北側、マーケット通りに面して、フランクリンが所有していた建物の中に郵便局があります。2階に郵便の博物館があり、全米で唯一星条旗を掲げない局として知られています。



2 コンgress・ホールは、首都が1800年12月にワシントンDCに移された当時のように復元されました

3 コンgress・ホール (国会議事堂)

今年9月から10月にかけてカーベットの交換が行われました。このカーベットは、Congress・ホール内の他のオリジナルやレプリカの家具とともに、歴史の重要性を感じられるよう慎重に研究されています。Congress・ホールは、

フィラデルフィアが一時的に首都であった1790~1800年の10年間、アメリカ合衆国議会として使われた場所です。本来のカーベットは幅1.2mの帯状のウールだったことが記録されていますが、色とデザインは不明でした。

今回のリニューアルにあたり、ある現代風刺画家によって水平のデザインが提案され、これをもとに国立公園のスタッフは、18世紀後半のフィラデルフィアで使われていたカーベットの柄を研究しました。選ばれた柄は、水平デザインの赤と緑のカーベットの上に立っているフィラデルフィアの商人であるサムエル・コーツの現代的な肖像画からのものです。



自由の鐘

独立宣言が採択された時に高らかに打ち鳴らされた自由の鐘は、大きな亀裂が入り音色を聴くことはできなくなりましたが、自由の象徴として、リバティ・ベル・センターに大切に保存されています。鐘の実物の見学と同時に、リバティ・ベル・センター内の鐘の文化的重要性を伝える展示も見てください。

日比谷公園に自由の鐘!

実は自由の象徴である「自由の鐘」は日本にもあります! 1952年4月米国から日本新聞協会に寄贈され、同協会は鐘塔を建造し東京都に寄贈しました。その後2011年、自由の鐘修復基金委員会により修復された自由の鐘はその鐘の音を取り戻しています。



4 旧大統領官邸跡

フィラデルフィアが首都だった1790年から1800年の10年間、ジョージ・ワシントン大統領、ジョン・アダムズ大統領が任期中に使用していた場所です。ワシントンは、召使や奴隷を使っていたが、アダムズは決して奴隷を所有せず、スタッフとして数人を雇っていたと言われています。米国設立当時の奴隷制と自由のパラドックスについての展示がされています。



6 米国憲法センター

合衆国憲法についてたくさんのことを学べる施設で、家族連れで来ても楽しめる展示になっています。センター内の「署名者たちのホール [Signers' Hall]」には、建国の父と呼ばれた憲法署名者たちの等身大の銅像が並んでいます。



5 インディペンデンス・ビジター・センター

インディペンデンス国立歴史公園の案内受付所でもあり、広域フィラデルフィア地区の観光案内所でもあります。アメリカの成り立ちやアメリカ独立戦争についてのショートムービーを見ることができます。目の前にはインディペンデンス・モールの美しい芝生が広がっており、独立記念館と米国憲法センターをバックにフォトジェニックな撮影を楽しんでください。

第31回日米草の根交流サミット開催地は和歌山県に決定!

2021年の開催地が和歌山県に決定しました。和歌山県庁国際課と準備を進めています。開催予定は2021年6月中旬。高野山や熊野古道など、二つの世界遺産がある和歌山県。また、なんと!ペリー提督の黒船がやってくる60年も前にアメリカとの交流があったという史実もある和歌山県。2021年の日本での日米交流がまた楽しみとなりました!



熊野古道



アドベンチャーワールドスターのジャイアントパンダ

ジョン万次郎 関連活動報告

2019年9月14日

第14回沖縄ジョン万次郎会講演会 @豊見城市社会福祉センター

【講演】

「ジョン万次郎はどのようにして知られていったのか」(幅 泰治氏)
「ジョン万次郎と長男東一郎と日米親善」(塚本 宏氏)

今年で14回を迎えた沖縄ジョン万次郎会主催の定例講演会が豊見城市社会福祉センターで開催され、NPO中浜万次郎国際協会の幅泰治氏(理事)と塚本宏氏(監事)の両名が講演されました。

講演に先立ち、8月に行われた土佐ジョン万会主催の「第5回ジョン万次郎英語弁論大会」に於いて審査員特別賞を受賞した、豊見城市出身の中学3年生、三宅央華さんのスピーチ発表があり、堂々としたそのスピーチに拍手喝さいが送られました。



NPO中浜万次郎国際協会 幅泰治氏



NPO中浜万次郎国際協会 塚本宏氏



豊見城市長の挨拶 塚本宏氏

2019年11月9日

ジョン万サミット in 東京 @東洋文庫

第6回ジョン万サミットが行われ、日本全国各地及び台北のジョン万次郎関連団体・個人が集まり、それぞれの活動を報告しました。また、ゲストとして夢枕獺氏をお迎えし、現在高知新聞に連載されている『白鯨とジョン万』のエピソードや裏話などを講演いただきました。会場となった東洋文庫にはCIEが所有する、万次郎たち日本人5人の漂流者を鳥島から保護した記録を残す「ライマンホームズの航海日記」が保管されています。今回、その東洋文庫のコレクションの中の万次郎の手書きによる活字体のアルファベットが特別にサミット会場内に写真撮影禁止の厳戒態勢の中展示されました。さらに詳細な報告は、同サミットに参加された幕末開国史研究の大家・加藤祐三氏のブログ「月一古典」11月20日付でご覧いただけます。当日の様様を緻密に執筆されています。

加藤祐三氏のブログ「月一古典」 <http://katoyuzo.blog.fc2.com/>

また、台北から参加された陳新炎氏によって万次郎の伝記が執筆され、台湾で紹介されています。



ジョン万サミット会場



陳新炎著「ジョン万次郎 伝説の生涯」
幕末から維新へ 鎖国を解いた土佐の漁師

2019年11月10日

万次郎忌と追悼昼食会

11月とは思えない暖かな秋の日差しの中、パワースポットとも言われる、雑司ヶ谷霊園の万次郎墓に、中濱京氏をはじめ、50人近くの人たちが集まりました。

参拝後、銀座2丁目のミキモトビルで追悼昼食会が行われました。同会には、フィラデルフィアにご縁のある万次郎の三男、慶三郎の子孫の中濱慶和氏も参加し、フィラデルフィアと慶三郎の関係について語られました。



夢枕獺氏



万次郎墓にて

翼の王国 11月号

CIE協賛企業の一つである全日空(全日本空輸株式会社)の機内誌『翼の王国』11月号の冒頭の「ごあいさつ」欄で、ジョン・ハウランド号の船体に書かれていた「多くのものが一つになって」のタイトル下、平子裕志代表取締役社長がご自身のジョン万次郎物語の出会いとそのエピソードに交えて、万次郎縁の地であるホノルルでのミュージックイベントを紹介すると同時に、第30回日米草の根交流サミットフィラデルフィア大会についても取り上げていただきました。

翼の王国: <https://www.ana.co.jp/ja/jp/mediastation/magazine/1911/>



Think Big, Act Honestly

私たちが大切に受け継ぐ価値観は、
所期奉公、処事光明、立業貿易の「三綱領」です。
これから切り拓く「つぎ」のステージでも、
大きな視野や構想を忘れず、正々堂々と誠実に。
ビジネスを通じてより良き社会のために尽くしたい。
私たち三菱商事の永遠の使命です。

動き出した「つぎ」にご期待ください。



寄附協賛企業一覧 (五十音順) List of Corporate sponsors of CIE Japan

AISIN

アイシン精機株式会社
AISIN SEIKI Co., Ltd

AICHI STEEL

愛知製鋼株式会社
AICHI STEEL CORPORATION

総合教育
生涯学習機関 **ECC**

株式会社ECC
ECC Co., Ltd.

100年をつくる会社
鹿島

鹿島建設株式会社
Kajima Corporation

kikkoman

キッコーマン株式会社
Kikkoman Corporation

JTEKT

株式会社ジェイテクト
JTEKT CORPORATION

ANA

全日本空輸株式会社
All Nippon Airways Co., Ltd.

DAIKIN

ダイキン工業株式会社
Daikin Industries, Ltd.

DENSO

株式会社デンソー
DENSO CORPORATION

DOCTOR

株式会社ドトールコーヒー
Doutor Coffee Co., Ltd.

豊田合成

豊田合成株式会社
TOYODA GOSEI CO., LTD.

TOYOTA

トヨタ自動車株式会社
TOYOTA MOTOR CORPORATION

豊田自動織機

株式会社豊田自動織機
Toyota Industries Corporation

豊田通商

豊田通商株式会社
Toyota Tsusho Corporation

**TOYOTA
FINANCIAL SERVICES**

トヨタファイナンシャル
サービス株式会社
TOYOTA FINANCIAL SERVICES
CORPORATION

トヨタ紡織

トヨタ紡織株式会社
TOYOTA BOSHOKU
CORPORATION

NIFCO

株式会社ニフコ
Nifco Inc.

Amway

日本アムウェイ合同会社
Amway Japan

NYK LINE

日本郵船株式会社
NIPPON YUSEN KABUSHIKI
KAISHA (NYK LINE)

HINO

日野自動車株式会社
Hino Motors, Ltd.

FKD | FUKADA DENKI

深田電機株式会社
FUKADA DENKI

FUJITSU

富士通株式会社
Fujitsu Limited

brother

ブラザー工業株式会社
BROTHER INDUSTRIES, LTD.

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上火災保険株式会社
Mitsui Sumitomo Insurance
Company, Limited

SMBC 三井住友銀行

株式会社三井住友銀行
Sumitomo Mitsui Banking
Corporation

三菱商事

三菱商事株式会社
Mitsubishi Corporation

三菱食品

三菱食品株式会社
Mitsubishi Shokuhin Co., Ltd.

明治安田生命

明治安田生命保険相互会社
Meiji Yasuda Life Insurance Co.

森村豊明会

公益財団法人森村豊明会
MORIMURA HOUMEIKAI FOUNDATION

アサヒグループホールディングス株式会社 / 東京海上日動火災保険株式会社
パナソニック株式会社 / 矢崎総業株式会社

Asahi Group Holdings, Ltd. / Tokio Marine & Nichido Fire Insurance Co., Ltd.
Panasonic Corporation / Yazaki Corporation

法人賛助会員一覧 (五十音順) Corporate members

医療法人財団今井会 足立病院 / 明治安田生命保険相互会社 / 株式会社三菱UFJ銀行 / 渡辺商事有限会社
Adachi Hospital / Meiji Yasuda Life Insurance Co. / MUFG Bank, Ltd. / Watanabe Trading Co., Ltd.



公益財団法人ジョン万次郎ホイットフィールド記念
国際草の根交流センター
John Manjiro Whitfield Commemorative
Center for International Exchange

〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-12-18 グランアックス麹町 602
TEL : 03-3511-7171 FAX : 03-3511-7175

GRAND AXE 602 2-12-18 Koujimach, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083, Japan
TEL : +81-03-3511-7171 FAX : +81-03-3511-7175
Email : manjiro@manjiro.or.jp URL : http://www.manjiro.or.jp